

「イクボス」で父親の育児参画促せ

男女共同参画週間フォーラムを開催

男女共同参画週間(6月23日~29日)にあわせて、男女共同参画社会を考えるフォーラムが6月28日、サンエールかごしまで開催されました。第1部では父親の育児参画に関する講演会、第2部では若者のデートDVについての調査報告がありました。

第1部 講演会

「パパもママもハッピーになる！
これからの生きかた・働かた」



講師の徳倉康之さん

第1部は、父親の育児参画を推進するNPO法人ファザーリング・ジャパン理事の徳倉康之さんが講演しました。

徳倉さんは共働きの妻と2男1女の3児の父親。会社員時代の2009年と11年の2回、計10カ月の育児休暇を取得した経験を持っています。「育児に積極的なイクメンをめぐる環境はこの10年で劇的に変わり、父親の育児への意識も緩やかに変わってきた。父親が育児参画できる環境づくりをもっと強化すべき」と強調しました。

先進24カ国の調査では、父親が家事・育児に参画するほど、また出産後の女性が就労するほど出生率が上がるというデータを紹介し、「男女が働き方、生き方を変えることが重要。多様な雇用形態・働き方を選ぶ「ワークライフ・マネジメント」が必要な時代になった。そのためには、部下のワーク・ライフ・バランスや人生を応援しながら組織の業績でもしっかり結果を出し、自分自身の仕事と私生活を楽しめる上司「イクボス」が新しい管理職像となる。これからは女性の活躍、イクメン、イクボスの3点セットが重要」と話しました。



父親の働き方、生き方についての講演会

第2部 男女共同参画センター調査研究支援事業報告会

調査テーマ：
「若者のデートDVの背景要因」

第2部では、鹿児島大学医学部保健学科の学生らによる調査報告がありました。

調査は昨年10~11月、鹿児島市内の高校、専門学校、短大、大学の生徒・学生を対象にアンケートを実施。なぜ好き合っているカップルに暴力が起きるのか、なぜ暴力を受けても暴力に気付かずに別れられないのかなどの疑問をもとに、「自分への満足度」「あなたの考える男女の役割」「交際中に起こった暴力と感ずること」「あなたの恋愛観」などの項目でアンケート調査した結果の分析が紹介されました。

この中で「性役割・ジェンダー意識にとらわれず、本来の自分らしさを大切にできる教育や、意思表示のできる関係づくりができるような教育をすることが重要で、根本的な自尊感情を高めることにさらに力を注ぐ必要がある」「男性に恋愛依存の傾向が強いことが、デートDVの加害者に男性が多い背景になっている」ことなどが指摘されました。



若者のデートDVについての調査報告会

♪ パパ大好き♡泣く子も笑うハッピースマイルセミナー リトミックで親子一緒にリラックス ♪

7月12日、サンエールかごしまで赤ちゃんとお父さんがリトミックを一緒に楽しみながらコミュニケーションを深めました。リトミックとは、音やリズムに合わせて体を動かしながら、

感じる心や想像する力を育む教育法。「どるちえMUSIC」代表の中村千里さんを講師に迎え、生後6カ月~2歳未満の赤ちゃん12人と父母が参加。ボールをたたいたり、

ドレミの音階に合わせて体を伸ばしたり、きらきら星の曲に合わせて両手をひらひらさせ、トライアングルをたたくなど、親子で一緒になって楽しみました。

全員で輪になって楽しむうちに、初めはぎこちなかった父親もすっかりリラックス。ぐずっていた赤ちゃんも体全体で喜びを表現。赤ちゃんとお父さん、そして父親同士のコミュニケーションも次第に深まっていく様子が見られました。講師の中村さんは「音に合わせて体を動かすことで心と頭、体がほぐれ、心身の調和、集中力や想像する力、感じる心、社会性などが育ちます。親子一緒に気軽にリトミックを楽しんで」とアドバイスしていました。



ドレミの音階に合わせて赤ちゃんを「高い、高い」

サンエールかごしまを拠点に、男女共同参画に関する活動を行う登録団体を紹介します。

響(Hibiki)

敷居の低い国際交流を目指して

響は「心に響く活動を」を理念に、若者のキャリア形成支援、留学生支援(緊急人道支援含む)を手掛けるボランティア団体です。サンエールかごしまを軸に荒田地域で活動しています。

「英語を話せなくても参加できる国際交流、身近でできる国際貢献は、まず相手を理解しようとする思いやりから生まれます。私たちの生活には学校、職場、家庭などさまざまな枠がありますが、そこから一歩飛び出すことで見える世界が変わります。多くの人に、その一歩を体験してもらいたいと思っています」(代表・牟田京子さん)。国際交流や国際貢献は、英語力や留学などと結び付けられがちですが、響は「敷居の低い国際交流」を目指し、年齢による上下のない、フラットな人間関係の中で活動しています。



主な活動内容は、毎月の国際交流、対話の場づくり、小学生~高校生への進路相談など。イベントの企画~立案まで一貫して大学生と若い社会人が関わる

○男女共同参画への思い

代表 牟田京子 さん
国籍、世代、性差、どれを取っても「異文化」と言えます。他者を尊重し、違いを理解しようと思う気持ちこそが男女共同参画社会を実現します。

Think of to Gender Equality

OHISAMA



例会ではマクロビオティック料理教室、女性に優しい下着・布ナプキン作り、草木染め教室、子育てや人間関係の講座、親子ヨガ、お産を語る会、座談会などを開催



○男女共同参画への思い

代表 菊永美樹 さん
ママがハッピーなら子どももハッピー！家の中の「おひさま」であるお母さんがまず生き生きと輝くことが、家族みんなの幸せづくりの第一歩だと考えます。

Think of to Gender Equality

自然育児の会 おひさま

親子・母親同士の交流の場に

子どもとその保護者を対象に、りぼんかんやサンエールかごしまなどで活動を行う自然育児の会おひさま。月1回の例会では、子育ての悩みなど会員が興味を持つジャンルの講座を開催するほか、子どもの食生活や病気への対応の仕方、環境にやさしい暮らし方などの情報交換を行っています。さまざまなイベントを通し親子の交流の場を提供するとともに、育児に関わる母親同士の交流を提供する場にもなっています。

代表の菊永美樹さんは「育児や生活そのものが楽しくなるきっかけ作りの場にしてほしいと思っています。お子さんを持つ友達も誘って、ぜひ気軽に遊びに来てください」と話しています。